あなたのスキルは社会に役立つ

エンジニアだからできる社会貢献

東日本大震災の発生直後に発足したHack For Japanや「市民が主体となって自分たちの街の課題を技術で解決するコミュニティ作り支援」を掲げるCode for Japanのメンバーを始めとして、日本各地で技術を活用した社会貢献活動が行われています。本連載では、防災や減災、地域の活性化や課題解決、そして人材育成など、「エンジニアだからできる社会貢献」の取り組みをお届けします。

第124回

シニアプログラミング発表会!

● Code for Japan 小泉 勝志郎 (こいずみ かつしろう) Twitter @koi zoom1

はじめに

while (Japan.recovering)

最高齢^{注1}のアプリ開発者、若宮正子さんによるアプリのリリースは世界中で報道されました。実は若宮さんがプログラミングをするように仕掛け、実際にプログラミングを教えていたのが筆者なのです。若宮さんにプログラミングを教えたことをきっかけに、シニア世代のプログラミング学習を支援する団体「シニアプログラミングネットワーク」^{注2}を2017年に立ち上げました。

それから5年。最近はシニアプログラミングネットワークも仙台・渋谷・愛知・大阪と全国4拠点にまで発展しており、各拠点で月に一度のシニアプログラミングもくもく会を行っていました^{注3}。

それだけ発展してくると当然、「自分の作品」を 持っている人も増えていました。

シニアプログラミング発表会 開催のきっかけ

5年間、基本的には毎月シニアプログラミングも くもく会を行っていましたが、実はシニアのみなさ んが作品を発表する場は、年に一度のCode for

注1 2022年4月19日で87歳を迎えられます。

Japan Summitのセッションくらいしか用意されて いなかったのです。

.

参加しているシニアのみなさんからも発表の場を要望する声があり、2022年1月15日にシニアプログラミング発表会を開催することになりました^{注4}。

発表者は4~5名を想定していたのですが、発表者の募集を開始したらなんとほぼ1日で枠が埋まり、結果的に6名に。プログラミング言語の偏りもなく、バリエーションに富んだ発表会になりました。

また、Code for Japan Summitでグラフィックレコーディング(以下グラレコ)を担当された菅原のぞみさんと内記深幸さんに、グラレコを行っていただきました。内容が非常にわかりやすく、そして親しみやすいです。今回の記事にもグラレコの絵を載せていきます。

シニアプログラミングの成果

ご参加いただいた6名のシニアプログラマーの成果物をそれぞれ紹介します!



英語の絵本読み上げに挑戦

林洋子さんからの発表は「日英語の絵本と教材作成」(図1)。林さんには2021年9月の「Code for Japan Summit」にも登壇していただき、Scratchを用いた日本語と英語の感覚の違いについてのクイズア

注4 今回のイベントはYouTubeから閲覧可能です。 https://youtu.be/-TBwMMyNUzA

注2 https://senior-programming.net/

注3 過去形なのは、現在はコロナ禍の影響でオンラインイベント しか行っていないからです。最近はオンラインの長所が活か され、拠点を設けていない地域からの参加者も多いです。そ れどころか、なんと海外からの参加もここしばらくはほぼ毎 月あるほどです。

シニアプログラミング発表会!

プリを紹介されていました。今回の発表はそ の発展形!

林さんいわく、日本語の文章は英語の文章に比べると、結論を明示せずあいまいな記述をされることが多いそうです。林さんは30年間大学で留学生に日本語を教える中で、英語論文に対応するような、論理と事実を重視した「日本語の型」を、林さん考案の「科学日本語」という書き方にまとめており、その理解につながるScratchアプリ^{注5}を開発されています。

また、今後の展開として、Scratchで英語を 読み上げる絵本も開発中とのこと。完成が待 ち遠しいですね!

タスク管理アプリをリリース

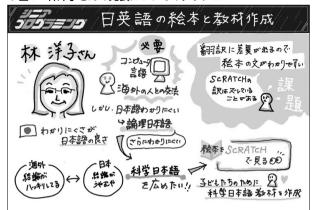
佐藤洋子さんの発表は「毎日やることの記録」 (図2)。なんとAndroidアプリ「To Do リスト毎日やることの記録」としてすでにリリースされています(図3)^{注6}。今回の発表では、この開発での苦労話が語られました。データベースであるSQLiteを使用する際にテーブルレイアウトに苦戦した話には、筆者からもさまざまなアドバイスを入れましたが、まずは実現できる方

法でやってみるというのは非常に重要なことで

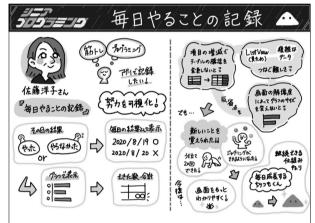
そして、実装以上にすごいのがサンプル画面で表示されていた「腕立て伏せ20回」と「ジャグリング」が実際に毎日できるようになったこと! アプリの効果があったこともすばらしいですが、プログラミングうんぬんとは関係なく、この2つができるシニアってすごいですよね。

また、今後の展望として「ちりつもくん」という、毎日のToDoの積み重ねによってキャラクターを成長させるゲーミ

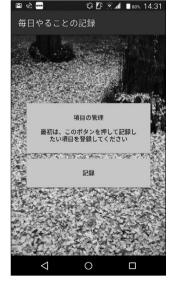
◆図1 林洋子さんの発表についてのグラレコ



◆図2 佐藤洋子さんの発表についてのグラレコ



◆図3 アプリの画面





注5 https://scratch.mit.edu/projects/ 532110473/

注6 https://play.google.com/store/apps/details?id=yoko.puyo.tododiary

あなたのスキルは社会に役立つ

エンジニアだからできる社会貢献



フィケーション的要素も入れていくとのこと。今後 の展開が楽しみですね。

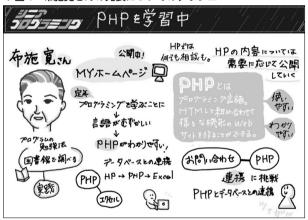


PHP はじめました

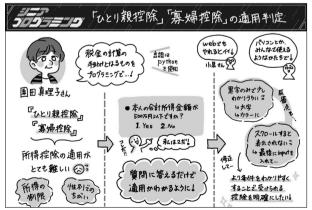
布施寛さんからの発表は「PHPを学習中」^{注7}(図4)。布施さんは現在、高齢者からのデジタル相談など、さまざな相談を受け入れるWebサイトを運営されています。そのサイト自体も練習用に作ったとのことですが、現在はお問い合わせを受け取るしくみを自分でプログラミングしてみようと、PHPの学習を始めたとのことです。データベースなどを学ぶ必要があったり、PHPを用いるにはWebサイトのサーバも再検討が必要だったりと、学ぶ内容が盛

注7 http://fhmeseiun.web.fc2.com/

◆図4 布施寛さんの発表についてのグラレコ



◆図5 園田真理子さんの発表についてのグラレコ



りだくさんですが、楽しく学ばれているようで完成 が楽しみです。



税理士が Python に挑戦

園田真理子さんからの発表は「『ひとり親控除』『寡婦控除』の適用判定」(図5)。園田さんはシニアプログラミングネットワークの有料講座「シニアのためのPython講座初級編 | でPythonを学ばれました。

園田さんは税理士として現在もご活躍中です。その税理士の知識を導入してPythonで作られたのが「『ひとり親控除』『寡婦控除』の適用判定」です。前述の講座内で使ったGoogle Colaboratoryを用いて作成されています。

「IT はあくまで道具だ」という意見をよく目にしますが、園田さんのようにITとは異なるプロ

フェッショナルの技術とつながると、そこで化学反応が起きます! 税理士ならではの知識を活かした作品を今後も作っていただきたいですね。



長年の開発がついに?

山本泰三さんからの発表は「DotchWin MatchMaker」(図6)。競技大会を手作りできるアプリ「DotchWin」シリーズの第一作という位置付けで、競技大会の勝敗や選手プロフィールなどの情報をパッケージとして共有できるというアプリです(図7)。デモの完成度が非常に高いんですよ。

実は山本さんは2017年にシニアプログラミングが立ち上がった当初からの常連なのです。山本さんはいつもシニアプログラミングもくもく会で本当にもくもくと作成されていました。「DotchWin MatchMaker」はWindowsアプリ、それもUWP(Universal Windows Platform)を利用したアプリとして開発が進められています。実は現在のシニアプログラミングネットワークのスタッフには、UWPに明るい人がいないのです! そのため、いつも本当に「もくもく」作業していただいていて、申し訳なく思っていました。

シニアプログラミング発表会!

実はこの「DotchWin MatchMaker」は、開発期間が 3年以上にもなります! 今回ついに作成途中の

「DotchWin MatchMaker」が公になったのです。本来は東京オリンピックに間に合わせたかったとのことですが、残念ながらオリンピックが1年延期しても間に合いませんでした。とはいえ、ここまで作り込むのはすごいです!

完成に近づく一方でさらなる構想の広が りもあるようですので、筆者からは「途中の 状態でもかまわないからリリースしてみる のが良いのではないか」とアドバイスしまし た。ぜひ早く公開してほしいところです。

3

受験勉強を思い出す?

今井裕さんからの発表は「楽しい基本英文 50題」(図8)。どこか受験生時代を思わせる タイトルです。Scratchで英文の穴埋め問題 50題を行うというもので、Scratchの読み上げ機能を活用しています。

ただ、今井さんはまだScratchアプリを 公開状態にしていないとのこと。ぜひ公開 してみなさんが触れられるようになると良 いですね。

最後に while (Japan.recov we.hack();

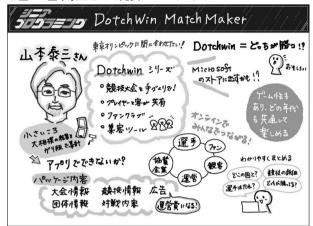
今回のシニアプログラミング発表会を通して、今後、若宮正子さんに続く新しいスターも出てきそうな予感がしています! 発表会はこれからも3ヵ月に1回程度の頻度で行っていきます。

シニアプログラミングネットワークの毎 月定例イベント「シニアプログラミングもく もく会」は自習の会としていますが、プログ ラミングが初めての方向けのガイドもある ので安心です^{注8}。

本誌読者のみなさんには、一緒にシニア

世代のプログラミング学習を盛り上げる仲間になっていただけるとうれしいです。

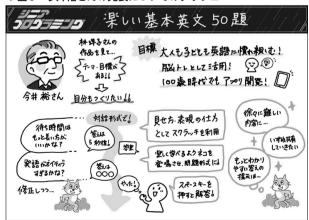
◆図6 山本泰三さんの発表についてのグラレコ



◆図7 DotchWin MatchMaker



◆図8 今井裕さんの発表についてのグラレコ



注8 本誌読者のみなさんには完全初心者はいないでしょうけど!